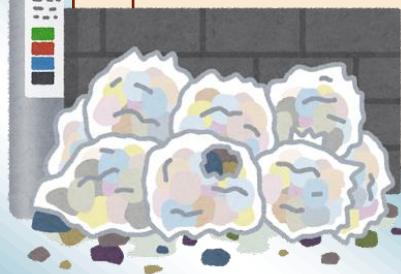


ごみをカラスに



荒らされないために



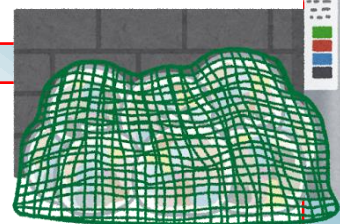
カラスはとても頭のよい動物です。一度エサがあると分かると、カラスはその場所を覚え、また同じごみ置き場を荒らしてエサをとろうとします。
ごみ置き場を綺麗に使えるように、次のことに注意しましょう。

1 外から見えないように



カラスはとても目の良い動物なので、目で見てエサを探します。
生ごみを出すときは、新聞紙や紙袋で生ごみを
覆い、外側から見えないようにして出しましょう。

2 ネットを上手につかう



カラスは、わずかな隙間からでも生ごみを引っ張り出し、散らかします。ネットは上からかぶせるだけでなく、ごみ袋の下に
巻き込むようにして、隙間ができないように使いましょう。

3 曜日・時間を守って出す

ごみを出す時間が早すぎて、ごみが置かれている状態が長く続くと、カラスに荒らされやすくなります。
ごみを出す時間は守りましょう。

皆んなで協力して、カラスからごみを守りましょう。

